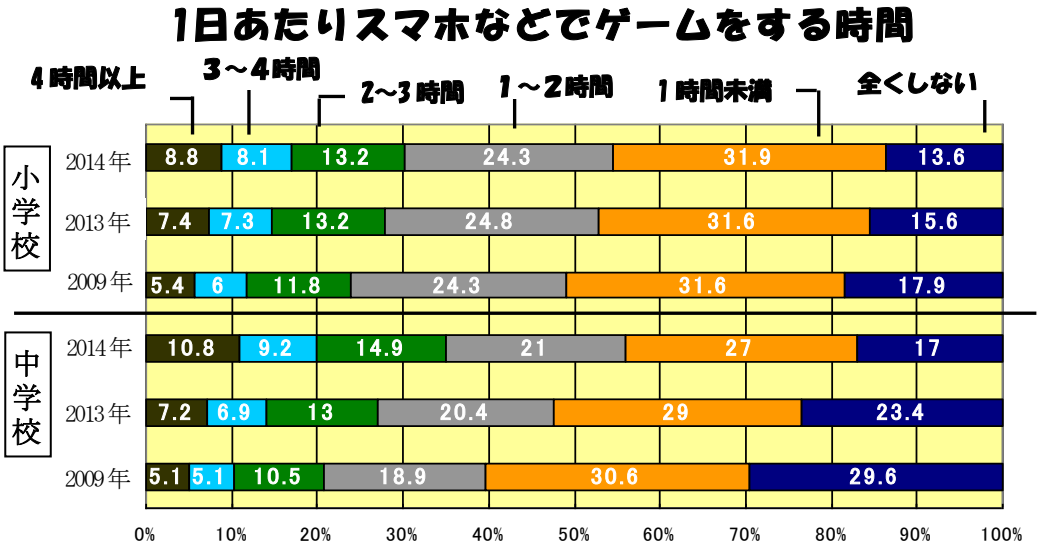
携帯・スマホの使用に注意

平成 26 年 10 月
中井町子どもの生活改善キャンペーン（第２７号）

スマートフォンの過剰使用していませんか？

携帯電話やゲーム機に代わって、子どもたちの間にスマートフォンが急速に広がっています。このような情報関連機器よる弊害は以前から心配されてきましたが、実際の子どもたちの姿にそれが表れてきているようです。保護者が自分の子どもの実態をしっかり把握する必要があります。



（2014年度全国学力・学習状況調査より（読売新聞より）＊四捨五入のため合計が１００％にならない場合がある）

学力に大きな影響あり！

ゲームやインターネットの利用時間が長いほど学力が低下する。

文部科学省が公表した全国学力テストの結果から、携帯電話やゲーム機、スマートフォンでゲームや通話、メールをする時間が長い児童生徒ほど成績が低い傾向にあることがわかりました。４時間以上の児童生徒と全くしない児童生徒とは、１０％以上もの正答率に差があります。国語・算数のどの調査でも同じ傾向が見られることから、明らかにゲームやメールが影響していることがわかります。

本来、家庭学習をしている時間がゲームやメールに奪われている現実があるようです。家庭学習の時間の確保とゲームやメールの時間のけじめをつけることが大切です。

よくあるトラブル事例

オンラインゲームにはまっている小学６年生のＡ君。夜中でも親に隠れてゲームを楽しんでいました。ゲームに参加しないと、仲間はずれにされるのではないかと心配で、途中でやめられなくなってしまいました。

Ａ君は、睡眠不足が続いた影響で、学校の授業に集中できなくなってしまいました。成績はオンラインゲームを始める前と比べて、明らかに下がってしまいました。それでもオンラインゲームはやめられないと言います。

総務省　インターネットトラブル事例集（平成 26 年度版）より

保護者として

見ていてほしいところ

○朝起きるのが遅くなり、寝不足のような顔をしていることはありませんか。
○ゲームに没頭して、周囲からの呼びかけに応じないことはありませんか。
○親に理由も言わずに「学校に行きたくない」などと言うことはありませんか。
○片時も、ゲーム機やスマートフォンなどを手放さないということはありませんか。

LINE（ライン）トラブルに要注意

～悪口・仲間はずしが横行～

「ラインはずし」という言葉をご存知ですか。ラインのグループから仲間はずれにされることを言います。ラインは仲間同士で情報を共有できる、無料で便利なアプリですが、特定のメンバーを外して情報を流せる機能があります。この機能を使って、本人に分からないように悪口を書き込んだり、仲間はずれにしたりすることがあります。そのことが原因で、学校でいじめに発展したり、様々なトラブルにつながったりしています。意図的に悪意を持って行われる場合と、ふざけて行われる場合がありますが、いずれの場合も相手の心を大きく傷つけてしまいます。

ラインのグループには返事を書き込まなければならないことが暗黙のルールになっていることも、同じようにトラブルの原因になっています。返事を書き込まなかったために、次の日にグループのメンバーから追及され、いじめにつながることもあります。一人がいくつものラインのグループに所属していて、すべてのラインに返事を書くために夜遅くまで時間がかかっているのが実態です。

親子の会話を活発に！

ラインだけでなく、インターネットによるトラブルは様々なものがあります。今、携帯電話やスマートフォンだけでなく、ゲーム機からもインターネットに接続できるようになっています。子どもたちが、いつ大きなトラブルに巻き込まれるか分かりません。

困ったことを相談できる親子関係であることがとても大切です。このような親子関係を作り上げるため、日頃から親子の会話を活発にしましょう。また、子どもの状況をしっかり把握するように努めましょう。

よくあるトラブル事例

ラインを利用していた中学２年生のＡ君。ラインには多数の友だちが登録されていました。ある時Ａ君は、冗談でＢ君の悪口を記入。Ｂ君には見られない設定をしていましたが、ほかの友だちＣ君からＢ君に伝わりました。

Ａ君の書き込みに激怒したＢ君は、自分の日記にきつい言葉でＡ君への文句を書き込みました。それは、ライン上の友だちにあっという間に広がりました。

落ち込んでしまったＡ君は、学校に行けなくなりました。

総務省　インターネットトラブル事例集（平成 26 年度版）より

◎親子でルールを作りましょう。

○フィルタリングを設定することについて

有害サイトなどの様々なトラブルから自分自身を守ります。大人社会のトラブルに巻き込まれると、困るのは本人だけでなく、保護者です。

○時間を決めることについて

精神的な安定を維持し、基本的な生活習慣をつくります。食事中や夜の使用を制限し、家族とのコミュニケーションを図ります。

○秘密にしないことについて

誰にどんなメールを送ったか、保護者が管理することが必要です。悪口やからかいなどの相手を傷つける書き込みをしていないかチェックします。

○保護者が取り上げることについて

ルールが守れなかったり、マナーが守れなかったりしたときは、保護者が取り上げて使用させないようにします。（その時はもうトラブルに巻き込まれているかもしれませんが！！）